

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
臨床病理学Ⅳ	2年次 後期	必修	講義	1単位（15時間）	岡田 純 ※	
授 業 概 要						
<p>疾病の成り立ちや症状、診断のための検査・治療について学び、健康障害時の人間の反応を理解する。 この内容は、健康障害がある対象への看護実践の上でも、疾病予防や健康増進の上でも、大変重要な基礎となる学問である。</p>						
到 達 目 標						
<p>1. 各臓器・器官の代表的な疾患について病態生理及び症状を説明できる。 2. 代表的な疾患の検査・診断・治療法・予防法について説明できる。</p>						
回	学 習 内 容				担当教員	
1	1. 感覚器系疾患 皮膚疾患 代表的な皮膚疾患の症状と病態生理/検査と治療・処置/予後 ・アトピー性皮膚炎/熱傷/皮膚癌				外部講師	
2	眼科疾患 代表的な眼科疾患の症状と病態生理/検査と治療・処置/予後 ・白内障/緑内障					
3	耳鼻咽喉科疾患 代表的な耳鼻咽喉科疾患の症状と病態生理/検査と治療・処置/予後 ・中耳炎/メニエール病/突発性難聴/副鼻腔炎/鼻出血/喉頭癌					
4-5	歯・口腔疾患 代表的な歯・口腔疾患の症状と病態生理/検査と治療・処置/予後 ・う歯/歯周病/舌ガン					
6-7	2. 免疫・アレルギー疾患 代表的な免疫・アレルギー疾患の症状と病態生理/検査と治療・処置/予後 ・膠原病/全身性エリテマトーデス ・関節リウマチ/花粉症/アナフィラキシー					
8	3. 感染性疾患 代表的な感染性疾患の症状と病態生理/検査と治療・処置/予後 ・感染症とは何か ・インフルエンザ/HIV感染症と日和見感染症				岡田 純 ※	
学 習 方 法						
講義中心に進める。各疾患を学ぶ事前学習として解剖学・生理学等の復習を行っておくこと。また、各学習内容の予習を行い、主体的に講義に臨むこと。						
評 価 方 法						
〔評価方法〕 科目修了試験						
先 修 科 目						
なし						
教 科 書、参 考 書						
〔教科書〕						
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[11]	アレルギー 膠原病 感染症	岩田健太郎 他著	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[12]	皮膚	渡辺晋一 他著	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[13]	眼	大鹿哲朗 他著	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[14]	耳鼻咽喉	小松浩子 他著	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[15]	歯・口腔	渋谷絹子 他著	医学書院